表 1 Excelでの病床稼働一覧表

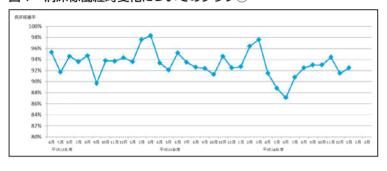
| 全科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 1月まで の平均 | 年間平均 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|--------|
| 平成22 年度 | 95.3% | 91.7% | 94.6% | 93.6% | 94.7% | 89.7% | 93.8% | 93.7% | 94.3% | 93.6% | 97.6% | 98.3% | 93.50% | 94.24% |
| 平成23 年度 | 93.4% | 92.1% | 95.2% | 93.5% | 92.6% | 92.4% | 91.3% | 94.6% | 92.5% | 92.7% | 96.4% | 97.6% | 93.05% | 93.69% |
| 平成24 年度 | 91.5% | 88.8% | 87.1% | 90.8% | 92.5% | 93.0% | 93.0% | 94.4% | 91.5% | 92.5% | | | 91.51% | |

ゴールデンルールス・ コンサルティング株式会社

東京都渋谷区渋谷2-7-14 中村ビル5F TEL: 03-6427-6382

E-mail:info@g-rules.co.jp URL: http://g-rules.co.jp/

病床稼働経時変化についてのグラフ①



別で過去3年、 ています。 では、図2はどうでしょう。 カラーで区別するのがベス 折れ線区別の強調につ 同月同士を比較し

だけの特異症状であることがわか 3月)の稼働上昇は、例年の傾向、 月の急激な稼働率低下は、 第4四半期(1

ることが予測される」という報告 が高い。そうなると4%程度の稼 月まではほぼ例年並みの稼働で 「例年2月、 よって、 ほぼ満床状況にな 今年の感冒の流行 先ほどの話に戻 3月は稼働が

今回は、 一番強調したい本年 線のスタイ

急増するのは感冒などの影響。 例年どおり稼働フル回転の きているので、 年度、院内状況も変わらない 。その予測に基づ

メッセージを入れる ガイドによってすっと

し合われれば、良い経営会議とな 考えられる対策(スムーズなべ コントロールなど) が会議で話

べる人」に伝わりません せっかくい いたとしても、 い素材(デ せっ 意

図2 病床稼働経時変化についてのグラフ②

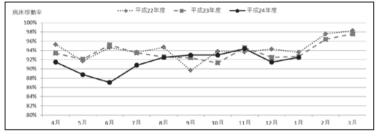
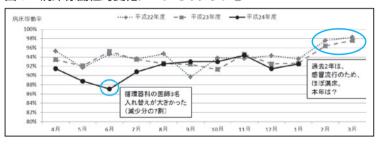


図3 病床稼働経時変化についてのグラフ③



この部分に目を向けてほしいか、 がパッとわかりません。そこで、 強調したり、コメントを入れる「ガ らかの印で強調したり、 ただ見せられただけの人には、それ ントか認識しているのでしょう つくり手は、 ド」という手法を紹介します(図 グラフのどこがポイ 図に現れ 何

最後に、見てほしいポイン

るのではないでしょうか。

漫然と調理してしまうと、 くの料理も、「味」や「意図」が「食 タ)を持って ここで大切になってくるのは、 ラフで「どんなメッセージを表

現したいのか」という製作者の

ッ

病院経営分析のためのExcelスキル●第1回

相手に伝えるメッセージと 的を意識した表現手段

目的に沿った分析を行おう」と

最初のポイント

は、

「自分たち

からです。

通認識の方向性も示されていない

自分たちの目的に沿った

分析を行おう

うことです。

ゴールデンルールス・コンサルティング株式会社代表 芦田弘毅

> 営企画室が経営層などに提出す 月例会議資料」と設定しま 床稼働」を題材とし、 の「最終目的」を明確に理解して 階」で、どこまで「狙い」や完成時 さまざま。ポイントは、 るかということです。 同じ素材を使っても、

今回は、 用途は、「経

「病

る

動)=月次収益は、病院経営にとっ て一番の基本であり、 何らかの数字取りは行 日単価×患者数(病床稼 たいてい

「エクセル」などマイ 開示しながら、紹介していきます 役立たせるための「ツボ」がどこ の工夫で役に立つ汎用のITツ にあるのか、 ルがあります。その最たるものが が普段用いているテクニックも お金をかけなくても、 病院スタッフが自院の分析に ポイント) でしょう。 ス御三家(エクセル、 主にエクセルの機能を使っ 私たちコンサルタン クロソフ 自分たち 今回か 読み取る時間もありませんし、 表から経営会議メンバーが内容を 論の最中に、こうした数字の羅列 向きません。限られた時間で、 経営会議でのメーン資料としては としてはいいかもしれませんが 2次資料をつくるための元デ 方は病院ごとにさまざまです ているのではないでしょう 分析者が状況をモニタ

思で検証するための補助参照資料 のデータは、その仮説を各自の意 ことが必須であり、こうした一覧 すなわち、 グラフ(図)で いでないと厳しいでしょう。 タを解釈した 「仮説」を出す 経営会議では誰かが

「つくる段 調理法は

メッセージを伝える

をぱっと共有するためには、 ラフなどによる図描画 (ヴィジュ ても結論・メッ 対なのでしょうか。それが、 参加メン した「仮説」を可視化 セージ・ ーが各自考えなく 何が

案しないで、

昨年の年間延べ患者

毎月の稼働目標だけを立て 律で12カ月で除算して(割

それは空虚なもの

稼働変動があります。

それらを勘

いうところは毎年、

月ごとで恒例

という言葉があるように、

病院と

に稼働が一度、

低下する「夏枯れ

の稼働現象が起こります。

夏ごろ

のグラフ、 同じぐらいの稼働であれば良好と の稼働にならないかなぁ」と判断し しよう。あわよくば、 好だったから、 設定したい」と考えているとしま をしたい」とか「次月の稼働目標を 形が有効であったり に「今年の1月は12月より稼働が良 す。そのとき、このグラフを根拠 せんが、このグラフに基づいて、「今 ここで図1をご覧ください。 か」と考えてみたらいかがでしょ たとえば、 何が知りたいか」「何を訴えた 「前月までの稼働状況の評価 用途によってはむしろこの 見た目は悪くはあり このグラフから 11月ぐら

でしょうか。 たとします。そのリードは正し 冬場は感冒の流行によって特有 2月もこの調子で、 もするのです

えさせることなく」思考を意図ど

ている特異現象の解釈をコメン

して入れたりすることで、相手に「考

りに連れて行くことができます。

その資料のつくり方、

伝え

アライズ) なのです

良くある「経営会議資料

のような形があり